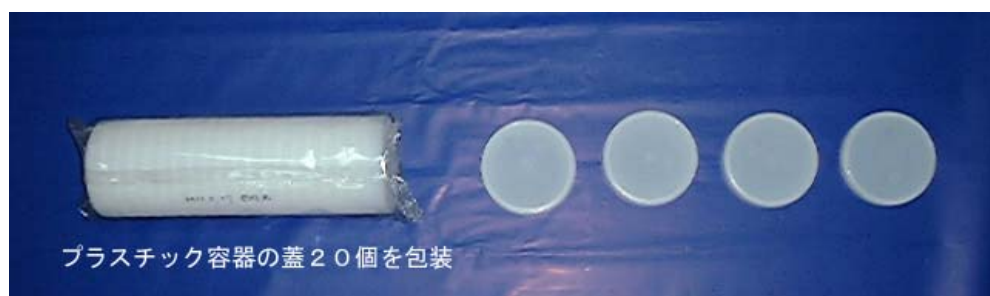
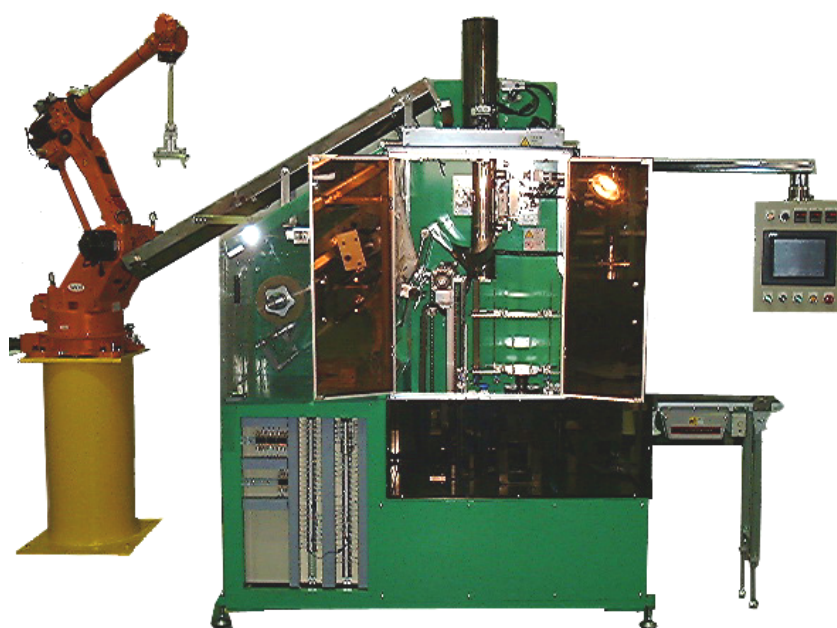


KVPH-1



通常、プラスチック容器の蓋の包装は形状の問題から自動化が困難で手作業に頼ってきました。上記装置は、この問題を解決し、3台のサーボモーターを採用することにより、スムーズな包装作業を実現しました。ベルトコンベアで同装置に送り込まれた蓋は、下から突き上げる空圧シリンダーで一定数、積み上げられる。段積された蓋は筒状にされたフィルム包装材の下に移動し、サーボモーターにより包装材の中に挿入される。この時、包装用フィルムとシール送りは、昇降サーボと同期して動き、スムーズに包装が実現される。工程を完全自動化することにより、手作業で発生する毛髪等の異物混入を防止することが出来ます。又、インラインでの無人化運転、箱詰めに直結しています。